

PAJ News Letter

一般社団法人 日本パラリンピアンズ協会 の活動をご報告します

Vol.02
2013年2月発行

ロンドンパラリンピックで日本選手団が健闘。 2020年夏季大会は、ぜひ東京で！

2012年のPAJ(一般社団法人日本パラリンピアンズ協会)の活動の様子をPAJニュースレターとしてお届けします。

2012年はロンドンパラリンピックが行なわれ、日本チームの活躍に大いに盛り上がりました。PAJとしても、選手・スタッフの競技環境調査を実施し、大きな反響をいただきました。さらに『東日本大震災復興支援プロジェクト』を実施し、パラリンピアンとしての活動の幅を広げてきました。今年は、2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市が決定するという重要な年です。地道な活動を続けていき、9月7日に皆さんとともに喜びを共有したいと強く思っています。PAJもスタートをしてから早いもので10周年を迎えます。この節目の年の活動が充実するよう努力してまいります。

日本パラリンピアンズ協会会長 河合純一

【1】パラリンピック選手の競技環境調査

ロンドン大会代表を対象にアンケート調査を実施

『パラリンピック選手の競技環境、その意識と実態調査』を、2008年北京パラリンピックに続く2度目の調査として実施しました。この調査は、中央大学保健体育研究所研究員で、本会アドバイザーでもある田中暢子氏の全面協力によるものです。

ロンドン・パラリンピック開幕前の8

月にメディアリリースを配信し、PAJウェブサイトでも公開。そして10月に最終報告書を作成し、選手および競技団体に郵送しました。この調査報告は、新聞等のメディアでも大きく取り上げられ、パラリンピック選手の置かれた状況の周知に一定の役割を果たしたと自負しています。



【2】協会への理解促進・会員拡充

日本選手団結団式・壮行会にて会員勧誘活動を実施

7月23日に都内で開催されたロンドン・パラリンピック日本選手団の結団式・壮行会にて、会員勧誘活動を行ないました。本会の活動について個別に説明しながら、仮登録カードへの記入をお願いした結果、多くの方から賛同を得ることができました。



【3】ロンドン・パラリンピック

日本選手団の健闘、PAJ役員の現地活動

8月29日～9月9日の会期で開催された『ロンドン・パラリンピック』では、日本選手が合計16個のメダル(金5・銀5・銅6)を獲得しました。また、日本パラリンピック委員会(JPC)が現地に開設した『ジャパンハウス』には、副会長の根木慎志(車いすバスケットボール)も常駐し、来場者を迎え入れる役割を担いました。そして、日本スポーツ振興セ

ンター(JSC)が実施した現地調査には、副会長の大日方邦子(アルペンスキー)、執行委員の高田朋枝(ゴールボール)が参加しています。両名はパラリンピック期間中に開催されたIPCパラリンピアン・リユニオンにも参加し、海外のパラリンピアンたちと交流を深めるとともに、フィリップ・クレイヴン会長とも同席する機会を得ました。



【4】 震災関連支援活動

東日本大震災被災地復興支援プロジェクト

『東日本大震災被災地復興支援プロジェクト』は、東北各県で実施される障害者スポーツ関連の行事にPAJ会員が参加し、一緒にスポーツをしたり、語り合ったりしながら、交流を図っていきこうというものです。スポーツオブハートからの寄付を活用し、PAJの活動のひとつとして継続的に取り組んでいます。

期日	開催地	内容	派遣選手・コーチ他
8月4日	岩手県	講演講師	上村
8月25日	福島県	陸上指導	福留
8月26日	宮城県	陸上指導	福留
12月23日	福島県	水泳・講演	福留・木村・田中・寺西
1月26日	茨城県	講演	藤田
2月15～17日	岩手県	スキー・講演	大日方



【5】 東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動への積極的な協力

2020年夏季大会の東京招致活動に、パラリンピアン立場から協力を続けています。

アスリートフォーラム

2012年12月9日
早稲田大学大熊講堂



Cheer! NIPPON

2012年12月25日
国立競技場



アスリート祭り

2013年1月19日
東京ドーム



【6】 スポーツを通じたさまざまな連携

厚生労働省との意見交換会

厚生労働省がロンドンパラリンピック出場経験者に競技環境実態把握を目的にしたアンケート調査の項目について、アスリートの立場から意見を述べました。

講演会活動

小中学校・特別支援学校を対象に、パラリンピアンを講師として派遣する事業を、東京都から受託しています。その他にも、教育やスポーツ関係からの依頼を受け、講演活動を行ないました。

JPCとの連携

日本パラリンピック委員会(JPC)に副会長2名(根木、大日方)が運営委員として参加し、選手の立場から意見を伝え続けています。

JOCとの連携

JOCアスリート専門部会に、会長および副会長がオブザーバーとして参加。また、JOCオリンピックズ研修会にも参加するなど、選手間での連携をますます深めています。

スポーツオブハート

2012年3月、恵比寿ガーデンプレイスにて、スポーツ選手やミュージシャン、文化人たちが集うイベント「スポーツオブハート」を開催しました。



- ・PAJは毎月2回メルマガを発行しています。本会の活動を知る手段としてご活用ください。
- ・PAJはパラリンピック出場経験者(パラリンピアン)の選手会です。多くのパラリンピアンの入会をお待ちしています。競技団体に所属または関係のあるパラリンピアンをご紹介ください。

ウェブサイト
www.paralympians.jp/

フェイスブック
www.facebook.com/paralympians.jp

メール
info@paralympians.jp

ツイッター
paralympians_jp

日本パラリンピアンズ協会(PAJ)事務局

〒145-0073 東京都品川区上大崎3-5-1
YKビル2階 目黒しょうの治療院 内
TEL: 03-6277-0160 FAX: 03-5773-4747

PAJ Paralympians Association of Japan